

[成果情報名] イチゴ「恋みのり」に適する子苗切り離し時期とクラウン径

[要約] イチゴ「恋みのり」において、子苗を6月20日頃に切り離して育苗し、クラウン径9mm以上の苗を定植すると、年内収量および総収量が増加する傾向となる。

[キーワード] イチゴ、恋みのり、育苗

[担当] 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・野菜研究室

[連絡先] (代表) 0957-26-3330

[区分] 施設野菜

[分類] 普及

[作成年度] 2022年度

[背景・ねらい]

九州沖縄農業研究センターで育成された品種「恋みのり」は2017年から県内で導入を開始し、2021年は80haまで作付面積を伸ばしている。しかしながら「恋みのり」は他県でも栽培事例がまだ少なく、その栽培特性に不明な点が多いため、本県の栽培条件における特性について明らかにする必要がある。

そこで、「恋みのり」に適する育苗期の子苗切り離し時期と定植時のクラウン径について明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 頂花房出蕾日、開花日、収穫開始日、第1次腋花房収穫開始日および頂花房～第1次花房間葉数は子苗切り離し時期とクラウン径の違いによる傾向は認められない(表1)。
2. 6月20日頃までに子苗を切り離しクラウン径9mm以上の苗を定植すると、7月10日以降に子苗を切り離すよりも年内収量および総収量が増加する傾向となる(表1)。
3. 6月20日頃までに子苗を切り離しクラウン径9mm以上の苗を定植すると、7月10日以降に子苗を切り離すよりも販売額が増加する傾向となる(表2)。
4. がく枯れ果発生率および心止まり株発生率は、子苗の切り離し時期およびクラウン径の違いによる差は認められない(データ省略)。

[成果の活用面・留意点]

1. イチゴ「恋みのり」の育苗管理に活用できる。
2. 雨よけ高設育苗における試験結果である。

[耕種概要]

(育苗) 親株定植日: 2018年11月19日、2019年11月21日

育苗方法: 雨よけ高設育苗、切り離し日: 試験区の構成のとおり

(本圃) 定植日: 2019年9月13日、2020年9月18日

栽培方式: 長崎県型高設栽培、栽植距離: 株間20cm 2条千鳥植え(700株/a)

施肥量: N-16.6kg/10a

マルチ被覆: 2019年10月16日、2020年10月15日

ビニール被覆: 2019年10月23日、2020年、10月19日

(収穫期間) 2019年11月中旬～5月15日、2020年12月中旬～5月14日

(試験規模) 2019年: 1区8株4反復、2020年: 1区5株4反復

[具体的データ]

区	年次	切り離し日 (月/日)	クラウン径	鉢受け日 (月/日)
6月-9mm	2019	6/19	9mm以上	5/1~5/30
	2020	6/22		
7月-9mm	2019	7/10	9mm以上	6/20~6/30
	2020			
7月-7mm	2019	7/10	9mm未満 7mm以上	6/20~6/30
	2020			
8月-7mm	2019	8/9	9mm未満 7mm以上	7/15~7/31
	2020	8/6		
8月-5mm	2019	8/9	7mm未満 5mm以上	7/15~7/31
	2020	8/6		

表1 子苗切り離し時期とクラウン径の違いが頂花房出蕾日、開花日、収穫開始日、第1次腋花房収穫開始日、頂花房~第1次花房間葉数、収量、商品果平均1果重に及ぼす影響

年次	区	頂花房			第1次腋花房 収穫開始日 (月/日)	頂花房~第1次 腋花房間葉数 (月/日)	年内収量 (12月まで) (kg/a)	総収量 (5/15まで) (kg/a)	商品果平 均1果重 (g/果)
		出蕾日 (月/日)	開花日 (月/日)	収穫開始日 (月/日)					
2019	6月-9mm	10/16 ± 2 ^z	10/24 ± 4	11/25 ± 2	2/4 ± 7	5.2 a ^y	153 a	544 a	20.0 a
	7月-9mm	10/19 ± 3	10/30 ± 3	11/30 ± 5	1/29 ± 8	4.3 ab	151 ab	525 ab	20.5 a
	7月-7mm	10/23 ± 4	11/4 ± 4	12/6 ± 6	2/12 ± 7	4.6 ab	131 ab	437 ab	19.5 a
	8月-7mm	10/23 ± 7	11/6 ± 8	12/8 ± 10	2/13 ± 10	4.5 ab	107 bc	462 ab	19.8 a
	8月-5mm	11/2 ± 8	11/14 ± 9	12/16 ± 10	2/10 ± 11	3.8 b	76 c	411 b	20.0 a
2020	6月-9mm	10/27 ± 1	11/10 ± 1	12/13 ± 2	1/27 ± 7	2.9 a	86 a	469 a	17.4 a
	7月-9mm	10/28 ± 1	11/11 ± 1	12/14 ± 1	1/27 ± 6	2.7 a	67 b	434 a	16.9 a
	7月-7mm	10/29 ± 1	11/12 ± 1	12/14 ± 2	1/25 ± 6	2.7 a	62 b	446 a	16.6 a
	8月-7mm	10/29 ± 1	11/11 ± 1	12/14 ± 2	1/27 ± 5	3.0 a	67 b	422 a	16.7 a
	8月-5mm	10/27 ± 1	11/8 ± 1	12/11 ± 2	1/26 ± 7	3.2 a	73 ab	438 a	16.6 a

z ±は95%信頼区間の幅

y 同一年度においてTukey法により異なるアルファベット間に5%水準で有意差あり

表2 10aあたりの販売額^z試算 (千円)

区	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
6月-9mm	471	1,560	728	1,590	1,535	252	371	6,507
7月-9mm	184	1,577	655	1,636	1,298	272	386	6,008
7月-7mm	114	1,470	797	1,315	1,245	355	256	5,552
8月-7mm	120	1,369	735	1,443	1,261	304	349	5,581
8月-5mm	143	1,138	588	1,654	1,271	203	362	5,359

z 販売額=月別商品果収量^y (kg/10a) × 月別単価^x (円/kg)

y 月別商品果収量は2019年と2020年の2か年の平均値

x 月別単価は2019年産と2020年産のイチゴ販売実績 (全農ながさき県本部) 2か年の平均値から引用

[その他]

研究課題名: イチゴ「ゆめのか」の高単価果実生産技術の開発

予算区分: 県単

研究期間: 2019~2021年度

研究担当者: 堀田修平、岩永響希